

開催月日	名 称 (開 催 地)
11.18-11.21	第31回年会/PLASMA 2014 (朱鷺メッセ, 新潟市) 本学会
2015	
3.20 - 3.22	日本原子力学会春の年会 (茨城大学日立キャンパス)
5.24 - 5.28	Int. Conf. Plasma Sciences (ICOPS 2015) (Antalya, Turkey)
5.31 - 6. 4	Symp. Fusion Engineering (SOFE 2015) (Texas, USA)
5.31 - 6. 4	Pulsed Power Conference (2015 PPC) (Texas, USA)
9.16 - 9.19	日本物理学会秋季大会 [物性] (関西大学千里山キャンパス)
11.16 - 11.20	57th APS DPP Annual Meeting (Georgia, USA)
11.24-11.27	第32回年会 (名古屋大学) 本学会
2016	
10.17 - 10.22	26th Fusion Energy Conference (FEC 2016) (Kyoto, Japan)
10.31 - 11.04	58th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (California, USA)

## こちら編集委員会です

### 【年会間近！歴史が刻まれている瞬間】

あと1ヶ月でプラズマ・核融合学会年会が開催されます。参加される方々は、発表資料づくりに励んでいらっしゃるかと存じます(まだまだ余裕の方もおられるでしょうか?)。さてこの年会、昭和59(1984)年に第1回が開催されて以来、今年で第30回目の開催[1]となります。その間、時代は昭和から平成へ、さらに20世紀から21世紀へと変化してきました。現在の多くの大学院生や若手研究者が生まれる前から続いているこの年会に、少しずつ歴史が刻まれてきています。これまでの30年の経験を振り返り、現在の研究の糧にできるのはシニアの方々の特権。かたや、来たる30年を見通し今後の研究の糧にできるのは、30年後も現役で活躍しているであろう大学院生や若手研究者の特権です。30年という時間スケールに思いをはせつつ、1ヶ月後に会場の東工大でお会いしましょう。なお、当日は第1回年会の予稿集、および学会誌の創刊号[2]の実物を会場で公開展示します!懐かしく読まれる方、新鮮に感じられる方、思い思いに楽しんでください。

(成嶋)

[1] 昭和59(1984)年から平成9(1997)年までは春季年会に加え秋季講演会が開催されていた。平成10(1998)年から「年会」のみの開催となり、現在に至る。

[2] プラ・核学会の前身 核融合懇談会発行の『核融合研究』 昭和33(1958)年7月発行

次回11月号は11月25日発行の予定です。ご期待ください。

#### 【11月号予告】

講座                   核融合施設における放射線計測の基礎 (最終回)  
 小特集                俯瞰と展望：磁気リコネクション研究の最前線  
 プロジェクトレビュー   日米科学技術協力 TITAN プロジェクト